

カビやきのこの働きを理解して森林や農地の適正な維持管理を目指す

- 所属名 / 環境農学研究部門 環境生態学分野
環境生態学系
- 研究者名 / 橋本 靖
- 職位 / 准教授
- 専門分野 / 微生物生態学、菌学

TEL : 0155-49-5495 FAX: 0155-49-5495
Email : yhashi@obihiro.ac.jp

研究内容の特徴

森林や耕作地でのカビ・きのこについて、生態学的に研究をしています。特に、植物と共生して成長を良くしたり、病害を防いだりする、菌根菌や内生菌について主な対象としています。

技術アピール・マッチングニーズ

カビやきのこは、森林や畑で様々な働きをしています。有機物を分解して窒素やリンを植物の吸収しやすい状態にしたり、マツタケやハナイグチ(ラクヨウ)のような菌は、特定の樹木種と共生し、樹木の成長を養分吸収を促進して助けるかわりに、樹木からもらった養分を使って美味しいきのこを作ります。このような菌類と植物の関係や、共生系の仕組みを解明し、持続可能な農畜産業につなげたいと考えています。

キーワード：カビ・きのこ・共生・菌根菌・
森林・土壌菌類・分解



針葉樹と共生しているきのこ(ドクツルタケ)